

第三回 全国俳句大会 最終選句のご紹介

選句、選評 佐々木 建成（俳人・天言俳句会名誉主宰）

兼題部門

入賞					優秀賞		会長賞		受賞
九州	中国四国	関西	関東	東北	中部	関東	関西		支部名
高橋 栄二	長畑 俊二	二宮 健	鷺澤 典子	矢口 米雄	柳澤 寿重	富岡 幸生	前川 祐助		会員氏名 (敬称略)
前席の団扇の風に顔なごむ	スタジアム団扇も飛んだホームラン	地車やゆれる団扇に令和の字	星月夜無事なれ旅のはやぶさ2	立つ鳥の旅路安かれ星月夜	一駅を歩いて帰る星月夜	追いかける逃げる金魚をもみじの手	<p>（前川さんより、受賞のお喜びの声）</p> <p>私が会長賞だと電話で聞いた時、非常に驚き、まさか私と何度もつぶやきました。この句は姫路城の公園を毎日歩いています。その時の様子を詠んだものです。膝に本を置き、簡易碁盤を使って黙々と一人で打っています。手には団扇が、蒸し暑い日の朝の木陰、景色全体がのんびりとした時間です。</p> <p>今回の俳句は古団扇か洪団扇で悩みましたが結果、先生のコメントでこの句には洪団扇が効いているとお聞きしました。嬉しいかぎりです。</p> <p>何事も飽きな私です。どうせ一年ぐらいでギブアップと書いていましたと何冊もの本を買い、NHK俳句教室を見たり猛勉強中です。今回の受賞でより一層勉強して頑張りたい気持ちになりました。OB OGの皆さま、選者の先生、事務局の皆さま、大変ありがとうございました。</p>		選句
<p>一人団碁ゆつくり動く洪団扇</p> <p>（選評）</p> <p>一人団碁だから相手を気にする必要はなく、時間を掛けて考えることが出来ます。昨今ならAIを利用して新しい一手を考えているかも知れないですね。単なる団扇でなく、洪団扇にした工夫が効いています。</p>									